

建設物価 建設資材物価指数[®] 2026年7月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

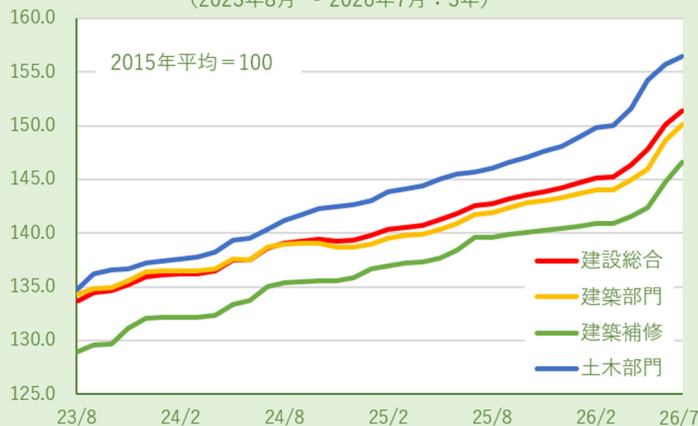
1. 指数の動向（全国平均）

2026年7月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**151.4**となり、前月比+0.9%(+1.3ポイント)と**20カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+6.2%(+8.8ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が**150.1**となり、前月比+1.0%(+1.4ポイント)と**20カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+5.9%(+8.3ポイント)となった。**建築補修**は**146.6**となり、前月比+1.3%(+1.8ポイント)と**20カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+5.0%(+7.0ポイント)となった。**土木部門**は**156.5**となり、前月比+0.5%(+0.8ポイント)と**2020年6月以降74カ月連続の上昇**となり、**最高値を更新**した。前年同月比では+7.4%(+10.8ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2023年8月～2026年7月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【金属製品】建設用金属製品・建築用金属製品

地金の国際相場の上伸による製造コストの転嫁が浸透したアルミ製品の値上げが、指数動向のプラスに寄与

【鉄鋼】鋼管類

製造コストの増加等を背景にメーカーが打ち出した値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【石油製品・舗装材料】軽油・重油

OPEC プラス主要国の増産表明などを受けた原油価格の急落により、販売店間の価格競争が激化し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

都市別に見てみると、**【高松】**(前月比+1.0%)や**【札幌】**(前月比+0.9%)では、セメント等の原材料費や運搬費等といった製造コストの上昇を要因としたコンクリートブロックの値上げや、鉄スクラップ等の原材料費の上昇による異形棒鋼の値上げが指数動向のプラスに寄与した。

【大阪】(前月比+0.9%)では、高松や札幌と同様に異形棒鋼の値上げに加えて、石灰製品の価格の上伸が指数動向のプラスに寄与した。

また**【名古屋】**(前月比+0.9%)では、異形棒鋼の変動はなかったものの、大阪と同様に石灰製品の値上げが指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2026年7月分】

全国平均：151.4	新 潟：147.7	札 幌：154.0
前 月 比 +0.9%	前 月 比 +0.9%	前 月 比 +0.9%
前年同月比 +6.2%	前年同月比 +6.0%	前年同月比 +5.6%
広 島：150.0	大 阪：157.2	仙 台：146.2
前 月 比 +0.9%	前 月 比 +0.9%	前 月 比 +0.9%
前年同月比 +6.7%	前年同月比 +8.5%	前年同月比 +6.2%
福 岡：153.5		東 京：150.9
前 月 比 +0.8%		前 月 比 +0.9%
前年同月比 +7.2%		前年同月比 +5.5%
那 覇：149.7	高 松：158.1	名古屋：150.3
前 月 比 +0.9%	前 月 比 +1.0%	前 月 比 +0.9%
前年同月比 +6.5%	前年同月比 +5.5%	前年同月比 +5.2%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp